

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/01

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.34	0.06
JPY/THB	0.2199	0.0002
USD/JPY	147.05	0.12
EUR/THB	37.79	0.07
EUR/USD	1.1686	0.0003
USD/CNH	7.122	0.002
SGD/THB	25.18	-0.01
AUD/THB	21.15	0.06
USD/INR	88.21	0.57
USD Index	97.77	-0.04

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.166	0.001
10Y (THB)	1.315	0.003
5Y (USD)	3.696	0.005
10Y (USD)	4.228	0.025

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,487.2	41.4
WTI (Oil)	64.01	-0.59
Copper	9,902.0	84.0

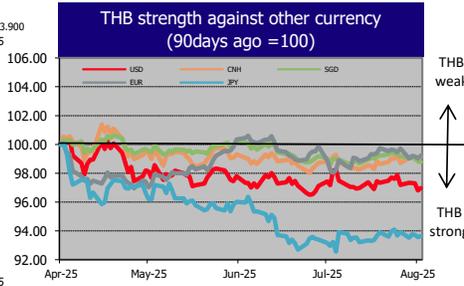
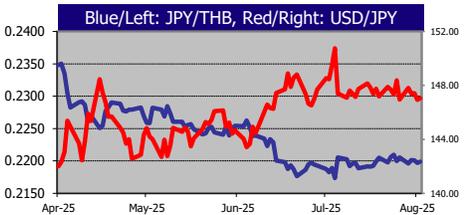
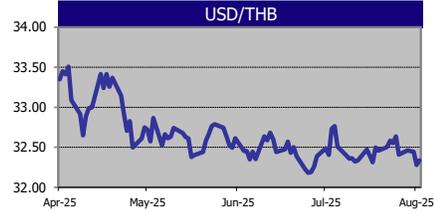
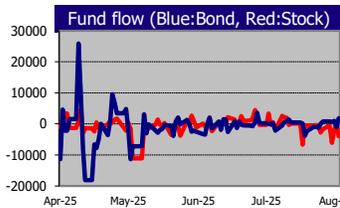
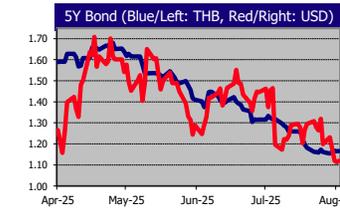
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,236.61	-13.48
NIKKEI (JP)	42,718.47	-110.32
DOW (US)	45,544.88	-92.02
S&P500 (US)	6,460.26	-41.60
SHCOMP (CN)	3,857.93	14.33
DAX(GER)	23,902.21	-137.71

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,952)	-4002.7
Bond net flow	1,846	2939.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

29日(金)未明にウォラーFRB理事が9月のFOMC会合での利下げ幅について▲50bpではなく▲25bpの支持を示唆したこともあってか、ドルパーツは32.20パーツ台後半で取引を開始しドル買いが見られたが、月末の実需の売りフローに32.30パーツ台後半付近で上値を押さえられ、以降はペートンタン首相に対するタイ憲法裁判の判断待ちの展開に。その後、当地15時頃に判決の読み上げが始まると、一時32.30台前半まで下落するも、15時40分頃首相の解職が命じられ、32.40台前半まで反発。ただ、上昇の勢いも限定的なものに留まり、結局32.30台後半まで戻し、判決前と水準感変わらず。欧州時間では複数の米経済指標の発表を控えて方向感を欠く値動きが続くNY時間オープンを迎えた。序盤はドル買いが優勢であったが、注目の米7月コアPCE価格指数は前月比・前年比ともに予想通りの結果となり反応は薄く、その後発表された米8月ミシガン大学消費マインド指数の予想を下回る結果を受けた米金利の低下に伴いドル売りが優勢となり、一時32.20パーツ台前半まで下落。午後は週末を前に32.30パーツを挟んでレンジで推移し、そのままの水準で取引終了。

●ドル円その他

29日(金)のドル円は146円台後半で取引を開始。朝方のウォラーFRB理事の利下げ幅に関する発言もあってかドル買い優勢であったが、月末の実需の売りフローが押し寄せ勢いは続かず、147円台前半で上値重く推移。147円近辺で欧州時間に渡り、複数の米経済指標の発表を控えて方向感を欠く値動き。142円台前半でNY時間に入り、序盤はドル買いが優勢であったが、注目の米7月コアPCE価格指数が予想通りで反応薄、その後発表された米8月ミシガン大学消費マインド指数の予想を下回る結果を受け、米金利が低下するにつれてドル売り優勢となり、一時146円台前半まで下落。午後は週末を前に147円近辺で方向感を欠いた値動きが続く、そのままの水準でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

先週金曜日(8月29日)、タイ憲法裁判所より、ペートンタン首相と内閣全員の解職命令が下された。既に次期首相選出に向けた動きが始まっており、最大野党である"国民党"(旧前進党)が、最大与党"タイ貢献党"につくのか、保守派とされる"タイの誇り党"につくのかに注目が集まっている。ただ、為替相場の動きを見ると、憲法裁判所の決定を受けたドルパーツは僅かにパーツ安の動きを見せたものの、値幅は限定的なものに留まった。寧ろ、先週のドルパーツ相場については、クックFRB理事の解任や、FRBメンバーの米金融政策を巡る発言、米経済指標の結果等を巡る動きに対する感応度の方が大きいように見受けられ、短期的には、ドルパーツ相場を窺うには米国の金融政策を巡る動きに特に注意が必要と見てよさそう。かかる中、今週は月初恒例の米国重要経済指標ランッシュである。もちろんタイ政局の動向にも注意を払っておく必要はあろうが、米経済指標、特に5日(金)の米8月雇用統計には最大限の警戒をしておきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.